

令和 8 年（2026 年） 3 月 31 日

令和 7 年度（2025 年度）
第 1 回 地域連携推進会議 議事録

1.開催情報

事業所番号	0111300224			
事業所名	社会福祉法人北海道リハビリー リハビリー・エイト			
今回の会議の対象となる生活住居 ※複数の共同生活住居を設置している場合に掲載				
開催日時	2025 年 11 月 26 日（水）13 時 30 分 ～ 16 時 00 分			
開催場所	北海道リハビリー法人本部 会議室			
出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考(欠席理由等)
	利用者	1 名	名	
	利用者家族	1 名	名	
	地域関係者	1 名	名	
	福祉知見者	1 名	名	
	行政関係者	1 名	名	
	事務局(施設職員)	4 名	名	管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 生活支援員 1 名 法人本部事務局 1 名

2.会議内容

1.【開会】

本会議は、事業所の地域連携およびサービス向上を目的として開催され、関係機関・地域関係者・利用者・家族・行政関係者等が出席した。

2.【施設見学】

以下の施設を見学した。

- ・利用者居室
- ・デイルーム
- ・地域交流スペース

利用者の生活環境および今後整備予定の地域共生事業スペースについて説明した。

3.【議題1】事業所紹介と地域との連携について

(1) 事業所概要

当施設では、障がいのある利用者に対し生活支援および機能訓練を提供している。

近年は利用者の高齢化・重度化が進んでおり、機能訓練や日常生活支援の重要性が高まっている。

(2) 機能訓練および地域共生事業の計画

現在の機能訓練スペースが手狭であることから、施設改修を行い、以下の機能を備えた「地域共生事業」を開始予定である。

- ・機能訓練（リハビリ・運動機能向上支援）
- ・地域交流スペースの設置・開放
- ・相談支援機能の充実

また、地域の高齢者や住民にも開放し、健康づくりや交流の場として活用する方針である。

(3) 地域との連携方針

今後、以下のような地域連携を進める予定である。

- ・地域住民向け運動教室・健康増進活動
- ・学校や地域団体とのイベント共催
- ・サークル活動やボランティアの受け入れ
- ・障がい者スポーツの推進
- ・地域高齢者への入浴機能の活用検討

(4) 施設名称の変更について

2026年4月より施設名称を変更する予定である。

- ・新名称：障害者支援施設たいし
- ・地域交流スペース愛称：くるね

名称は地域の学校生徒からの応募によるものであり、地域とのつながりを重視した取り組みとして選定された。

(5) 質疑・意見

地域関係者から以下の意見があった。

- ・高齢者の移動手段（送迎バス等）の必要性
- ・地域住民向け健康教室の実施提案
- ・学校・地域団体との体育館活用の可能性
- ・ケアマネジメント機能強化の重要性

これに対し施設側は、高齢者の送迎体制や居宅介護支援事業所設置については、今後の課題として検討していく旨を回答した。

4.【議題2】利用者の権利擁護とサービスの質の向上について

以下の内容について説明を行った。

- ・実施事業の状況（定員、利用実績、障害支援区分の推移等）
- ・職員研修の実施状況
- ・災害訓練の実績
- ・支援の質向上の取り組み
- ・虐待・身体拘束対応状況
- ・事故・ヒヤリハット報告

その後、行政・地域関係者より主に以下の意見があった。

（1）サービス提供状況

利用者の高齢化・重度化が進んでいる現状について共有された。

（2）事故防止・安全対策

事故防止に関して、センサーマット等の ICT 機器の活用について意見が出された。

法人内の他施設において試験運用を開始しており、今後の導入について検討していく。

（3）相談支援体制

計画相談支援事業所の移設を予定していることが報告された。

また、居宅介護支援事業所の設置については、人材確保や制度動向を踏まえ検討していく。

（4）虐待防止・権利擁護

虐待対応については、判断に迷う場合には行政と連携しながら対応する重要性について意見があった。

5. まとめ

本会議では、施設の地域開放・機能強化・相談支援の充実を柱とした「地域共生事業」の方向性が共有された。

今後は、地域との連携をさらに深めながら、利用者支援の質向上と地域福祉の発展に取り組んでいく。

以上

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	0110501210			
事業所名	美しの森			
今回の会議の対象となる共同生活住居 ※複数の共同生活住居を設置している場合に記載				
開催日時	令和 7 年 10 月 30 日 木曜日	13:30	～	15:30
開催場所	札幌市清田区美しが丘3条4丁目1-50 美しの森内会議室			
出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	2 名	名	入所利用者
	利用者家族	1 名	名	入所利用者家族
	地域の関係者	2 名	名	近隣町内会会長 近隣小学校校長
	福祉に知見のある人	1 名	名	近隣相談支援事業所所長
	経営に知見のある人	0 名	名	
	事務局（施設職員）	3 名	名	管理者、サービス管理責任者 生活支援員

2. 議題内容

・地域連携推進会議開催について ・施設内見学 ・施設の概要等 ・利用者の障害状況 ・近隣からの苦情等の共有 ・経営状況の報告 ・法人の基本理念 ・職員研修の状況 ・非常災害訓練の実施状況 ・BCPの策定状況 ・各種報告（虐待、事故、ヒヤリハット） ・意見交換その他
--

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【利用者】

- ・困っていることはない。行事等に参加することを楽しみにしている。

【利用者家族】

- ・作業療法士によるリハビリテーションを受けれる等特徴のある施設にしていく必要があると思います。
- ・ショートステイを記載しているが、実際には利用できない状況になっている。他法人の施設のように休養室を設けて、ショートステイを利用できるようにしたり治療のためにスペースを確保した方がいいのではないかな？
- 施設からの回答：美しの森のショートステイは空床型で入所に空き室がある場合のみ受けられる事になっている。わかりづらい面があることは承知しているが、ご理解していただきたい。
- 要望：建物のつくりとしてゆとりがあるように思えるので、ショートステイや休養できる部屋を増設してほしい。

【地域の関係者】

(近隣町内会会長)

- ・町内会として美しの森の行事の周知や参加をすすめてきました。地域の人も参加されている様子を見て、安心した一方でもっと広めていくことも必要と思っています。また、町内会が年々高齢化している中で色んな部分で交流していくことが必要と考えます。
- (近隣小学校教諭)
- ・近くにある施設なのに内容をなかなか知る機会がなく、知る機会があってよかった。学校としてこの施設に興味を持った子供達に伝えることができます。
- ・災害時に連携できるようなつながりが持てれば学校としても心強く思います。

【福祉に知見のある者】

- ・学校の近くにあり、町内会とも連携をとれている姿は望ましいと思う。社会資源として地域に知られていき、互いに顔が知られたような付き合いになればいいと思う。また、社会福祉事業として災害時等でAEDの設置場所等お互いに知っておくことは大事だと思う。

4. その他

- ・施設訪問（見学）は同日に実施。所要時間30分（13：30～14：00）
- ・会議は見学終了後に実施。所要時間90分（14：00～15：30）

※本会議では、地域のこのような施設があることを理解していただき、地域の皆様とともに安心して暮らせるまちづくりを考える場とした。また、町内会・学校・相談事業所・施設が顔の見える関係作りに努めました。

- ・次回の会議の開催時期は、2026年秋を予定。
- ・次回会議では、地域に対し、施設としてどんな形でかかわっていけるか、また、小学校等とどのような交流（見学や職場体験など総合学習的な）ができるかなどについて検討したい。

※ 複数回に分けて会議を実施した場合、実施日ごとに1ファイルとして作成してください
※ 取りまとめの都合上、行や列の追加・削除等の変更は行わないでください。

令和 7 年度（2025 年度）
第 1 回 地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	0121300446			
事業所名	社会福祉法人北海道リハビリー エルフィンホーム			
今回の会議の対象となる生活住居 ※複数の共同生活住居を設置している場合に掲載	共同生活援助事業エルフィンホーム [ユニット] ・えぞりす ・かわせみ ・クローバー ・かえで ・陽だまり ・すずらん			
開催日時	2025 年 1 月 20 日（木）9 時 30 分～12 時 00 分			
開催場所	北海道リハビリー法人本部第 2 研修室			
出欠状況	構成員	出席	欠席	
	利用者	1 名	名	
	利用者家族	1 名	名	
	地域関係者	1 名	名	
	福祉知見者	1 名	名	
	行政関係者	1 名	名	
	事務局(施設職員)	3 名	名	管理者 1 名、 サービス管理責任者 2 名

2. 会議内容

【開会】	・ 管理者より開会挨拶 ・ 出席者の紹介
○施設見学 9:30～11:00	
[ユニット訪問] ・ えぞりす ・ かわせみ ・ クローバー ・ 陽だまり ・ すずらん ・ かえで	サービス管理責任者より説明 ・ 各ユニットのサービス内容及び利用者状況について ・ 建物の構造、設備などについて ・ 防災、防犯、安全設備について ・ 世話人、入居者とのコミュニケーションや利用者の居室見学など
○会議 11:00～12:00	
○管理者より「地域連携推進会議」の趣旨説明	
【議題 1】 事業所紹介と地域との連携について	サービス管理責任者より説明 ・ 施設概要（定員、部屋構成、職員数など） ・ 日常生活の様子（写真資料等に基づいて説明） ・ 参加している地域行事や施設イベントの紹介 ・ 非常災害計画（総合防災ファイル）の概要と避難訓練の実施状況

【議題2】 利用者の権利擁護とサービスの質の向上について	管理者より説明 ・法人の基本理念と支援方針 ・施設の経営状況 ・支援の資質向上のための取り組み 職員研修の実施状況など ・事故・虐待等の事例と対応状況 ・ヒヤリハット・改善活動の報告 など
○全体を通して質疑応答	

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【利用者】 構成員 特にありません。 管理者 日常生活の中で何か気付いたことや思っていること等があれば、職員に相談して下さい。	
【利用者家族】 構成員 息子はグループホームで生活を送っていて、本人は今の生活に満足しているように感じるが、グループホームや地域の行事にもう少し参加して欲しいと思っている。 これまで週末は自宅に帰省していたため、行事などへの参加は難しかったが、現在、私がグループホームの近くで生活するようになったため、今後、地域活動やイベントなどへ積極的に参加するよう促したい。 年末に予定しているエルフィン自治会の「忘年会」も、息子は欠席する予定だが参加するように呼びかけている。 幼少期は地方に住んでいて、地域の方々に大変お世話になり、周りからの働きかけや顔を覚えてもらったことで、一人で過ごすこともできました。現在住んでいる西の里地区でも地域との関わりを持って、何かあれば助けて頂き、良くない行いがあれば声をかけて頂ければと思います。今後ともよろしくお願いします。 管理者 エルフィン自治会では、見学旅行やボウリング大会、花火大会など年間行事を決めて実施していますので、参加したい行事があればぜひ参加して下さい。また、町内会の行事も春・秋の一斉清掃や焼肉会、夏祭りなど色々あるので参加して頂ければと思います。	
【地域関係者】 構成員 いつも入居者の皆さんが、町内会の行事に参加して頂いており、皆さんにお礼を伝えて下さい。今後ともよろしくお願いします。 サービス管理責任者 こちらこそよろしくお願いします。 管理者 西の里地区は昔よりノーマライゼーション奨励地域ということもあり、障がい者に対して大変理解のある地域だと感じています。そういった地域の状況か	

ら町内会として何かありますか。

構成員 障がいのある方々に対しては、普通に近所の方々・仲間と認識していて、障がいの有無で何か特別なことがある訳ではありません。私も西の里に住んで30年ほど経つが、その当時より北海道リハビリの皆さんと多く関わりを持っているように感じています。

町内会には北海道リハビリの関係者が沢山いらっしゃるの、これを機に町内会から何かお願いすることがあるかも知れません。その際は、どうぞよろしくをお願いします。

管理者 法人は来年度から施設と地域がつながる場所として、地域共生事業を開設する予定です。グループホームとしても、引き続き地域との関わりを継続して、何かしら地域の皆さんのお手伝いが出来ればと思っていますので、何かあれば町内会や皆さんからお声がけください。

【福祉知見者】

構成員 事業収支を見ると経営的には厳しい状況が伺うことができました。

管理者 北海道の最低賃金がこの数年大きく上昇して、パート職員の人件費が増加しています。人件費のほかにも食材費や燃料費など様々なものが高騰しており、事業運営はとても厳しい状況だと実感しています。

国や北広島市さんから物価高騰による助成金等を受給して、とても助かっていますが、それにも増して様々な物の価格が高騰している状況があります。

定員充足や利用率向上、経費削減に取り組んで経営の安定化に努めたいと考えています。

構成員 現在、職員は充足していますか。

管理者 職員は充足していますが、世話人が不足していて職員が世話人シフトに入って業務のサポートを行っている状況です。

構成員 人員確保のため様々な取り組みを行っていると思うが、外国人労働者の雇用などは考えていますか。

管理者 現在、法人は外国人労働者の雇用について検討しているところです。ただ、エルフィンホームの世話人については、雇用形態がパート雇用であり収入面が少ないことから、外国人労働者の希望者はいないのではないかと考えています。

構成員 事故及びヒヤリハットの服薬報告を受けて、障がい者施設に限らず高齢者施設などでも誤薬事故の件数が多いと言われています。誤薬は大きな事故につながる可能性がある、服薬ミスを防ぐためのチェックを強化して対応してください。

管理者 施設として服薬管理は、間違っはいけないものと認識しており、飲み忘れや飲み間違いなどが無いよう、チェック体制を厳重にして正確な薬の服用に努めます。

【行政職員】

構成員 今回、この会議を開催するにあたり、準備が大変だったのではないかと感じています。ユニットを見学して率直な感想は、入居されている皆さんは日中作業も

されていて充実されているような印象を受けました。北広島市としても大変心強く感じており、利用者のご家族の皆さんも同じような気持ちを抱いているのではないかと思います。引き続きよろしくお願いします。

行政の立場からお話ししますと、障がい者のグループホーム（共同生活援助事業）は北海道が所轄となっているため、北広島市とエルフィンホームの距離は近いものの、詳しい実態（入居者や職員の状況など）がなかなか把握できないと感じていました。今回の「地域連携推進会議」を一つの機会として、今後、グループホームと北広島市との連携に繋げていくことができるよう、よろしくお願いします。

管理者 北広島市さんには、日頃より様々な面でお世話になっています。

エルフィンホームとしても、引き続き地域と連携を図りながら、入居されている方々が安全に安心して暮らしていけるようなグループホームを目指して、事業運営に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

4. その他

- ・ 次回の地域連携推進会議は、令和8年秋頃を予定しています。
- ・ 会議後に議事録を作成し、当法人ホームページにて公開します。

以上